

フールを楽しむ会

1月26日(金)

今年度も晴天のもと、令和5年度フールをたのしむ会が行われました。

JSJでは例年水泳授業の最後に「フールをたのしむ会」を行っています。内容は委員会の児童生徒が中心となって考えているため、毎年異なります。

今年度は①成果発表会、②宝探し、③オールスターレー対決、④小中対抗ビーチバレーボール、⑤波づくりの順で行いました。

成果発表会では、まず今年度の水泳授業でできるようになったことやチャレンジしたいことを先に宣言します。そしてそれぞれの成果を発表していきます。全員がこの短時間で飛躍的に伸びた成果を発表しました。中にはクロールで25mを泳ぎ切る2年生や、きれいなフォームの平泳ぎで25mを泳ぐ3年生の姿など、日本ではあまり見かけることのない高レベルな成果発表をしている児童がいました。

宝探しでは運動会の時の紅白チームに分かれて、宝に見立てたゴルフボールをどちらのチームが多く見つけるかを競い合いました。

オールスターレー対決では児童生徒選抜チームと教員チームが、それぞれ6人ずつ出し合っのレー対決です。児童生徒チームは3人が自由形・3人が平泳ぎに対し、教員チームは全員が平泳ぎです。第3泳者にバトンが渡った時点では圧倒的に教員チームがリード。しかし教員チームの第3泳者S教諭は、2年前にも圧倒的リードを覆されて場を大いに盛り上げたエンターテイナー。今年度もG6児童に圧倒的リードを覆されて、場を大いに盛り上げてくれました。児童生徒チームはそこで得たリードを余裕で守り抜き、教員チームの惨敗で幕を閉じました。

その後、ビーチバレー、波づくりと、児童生徒が主体となってみんなフールを楽しむことができました。行事委員会みんなの頑張りのおかげで、とても良い「フールを楽しむ会」となりました。



